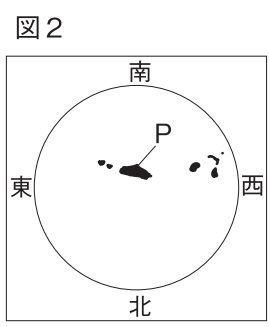
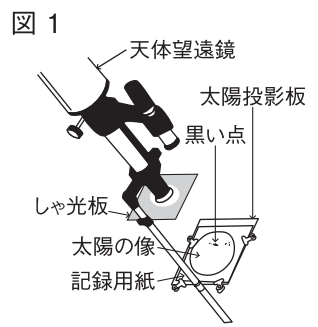


理科

太陽の表面の様子

1 天体望遠鏡を使って、太陽の表面のようすを調べました。

〔観察〕 図1のように、天体望遠鏡に太陽投影板としゃ光板どうえいばんを取りつけ、記録用紙を固定しました。望遠鏡を太陽に向けてピントをあわせたとこ、図2のような黒い点Pがうつりました。



- (1) 天体望遠鏡で太陽を観察するとき、注意しなければならないことは何ですか。  
( )
- (2) 黒い点Pを何といいますか。  
( )
- (3) 黒い点Pは、周囲に比べて、温度は高いですか、低いですか。  
( )
- (4) 黒い点Pをしばらく続けて観測すると、少しずつその位置が移動していることがわかりました。このことから、太陽がどのような運動をしていることがわかりますか。  
( )
- (5) 黒い点Pは、太陽の周辺部まで移動すると、だ円形に見えました。このことからわかることを簡単に書きなさい。  
( )
- (6) 太陽の表面には、①ガスが吹き出したような炎の柱や、②太陽をとり巻く高温のガスの層があります。下線部①②の名前を書きましょう。  
① ( ) ② ( )
- (7) 太陽のように、自ら光を出している星を何といいますか。  
( )

組 番 名前

かかった時間 正解数  
分

